

高齢者向け類似施設の位置づけとその違い

図2●入居者の要介護度と所得から見た高齢者住宅の位置づけ

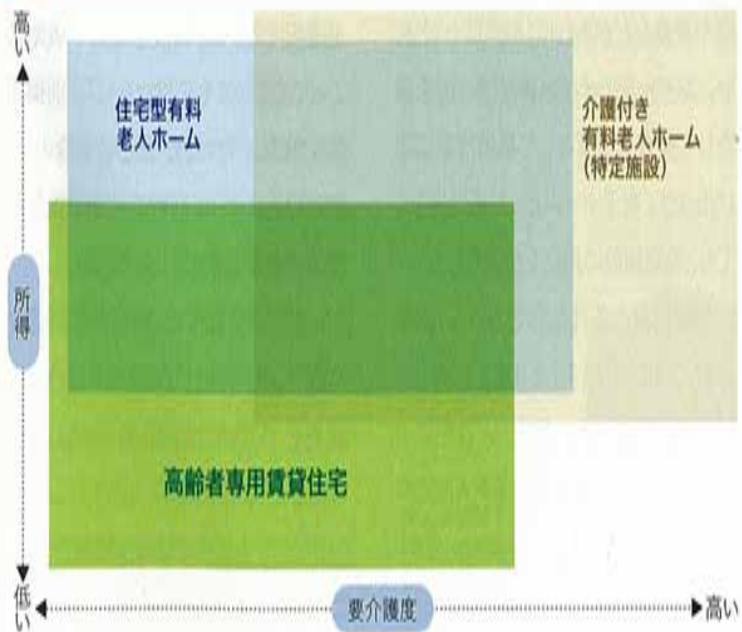


図3●高専賃と適合高専賃、有老ホーム、特定施設の関係

高齢者円滑入居賃貸住宅

高齢者専用賃貸住宅

有老ホームに該当し得るサービスを行う高専賃 介護、食事、家事援助、健康管理のいずれかを提供
▶有老ホームの届け出が必要な高専賃

適合高専賃の要件を満たす高専賃 適合高専賃の届け出を行わなくても要件を満たしていれば、有老ホームの届け出は不要(住所地特例の対象外)

適合高専賃 適合高専賃の届け出をすれば特定施設の指定を受けられる
▶有老ホームの届け出は不要(住所地特例の対象)

特定施設
(特定施設入居者生活介護の指定事業所)
●一般(包括)型特定施設
●外部サービス利用型特定施設
(住所地特例の対象)

※適合高専賃の「要件」は23ページのチャート参照

出典:日経ヘルスケア